

# 国道ガードレール

新宮市  
熊野川町

## 川舟からの景観配慮

# 裏側を茶色に塗装



ガードレールの裏面を茶色のペンキで塗装する  
(13日、新宮市熊野川町で)

熊野川を下る川舟から見える景観に配慮しようと県は13日、新宮市熊野川町で、国道168号に設置する白いガードレールの裏側を茶色に塗装した。地元の語り部ら約15人が参加し、1時間ほどかけて作業した。着色したガードレールは、2月末までに現在のガードレールと交換する予定。

川の参詣道として世界遺産に登録された熊野川では、語り部とともに舟で川を下る「川舟下り」が観光客の人気を集めている。川舟から山を眺めた際に木々の間から白いガードレールが見えてしまふ場所があり、景観を損ねていると指摘されていた。

そこで国土交通省と地域の活動団体などで行く「日本風景街道熊野推進協議会」や県は、2006年度から、老朽化した従来の白いガードレールを取り換える際に、茶色のガードパイプを使って景観整備を行って

る。これまでに約2キを  
取り換えている。

今回、ガードパイプの  
付け換えが難しい地点で  
も景観を損なわないよう  
にするため、ガードレ  
ールの裏側を茶色に塗装す  
ることにした。塗装の場  
合、経費もガードパイプ  
に付け換えるのに比べて  
6分の1程度で済むとい  
う。設置区間は熊野川町  
内の国道168号沿い5  
区間で、計260以。事  
業費は約100万円。

この日の作業には県職  
員に加えて、語り部や熊  
野川川舟センターの職員  
がボランティアで参加  
した。川舟センター近く  
の空き地に並べられた  
取り付け分のガードレ  
ール板65枚を、ブラシを使  
って1枚1枚丁寧に茶色  
のペンキを塗って仕上げ  
た。

ガードレールは乾燥さ  
せた後、県が業者に依頼  
して、景観保護が必要な  
場所に取り付けていく。